

2022年度 助 成 事 業 結 果 表

●学術講演会助成金「知のミーティング助成金」 (889,722 円)

開催時期		申請者	講演名	参加予定者等	備考
1	9 月 20 日	愛知大学国際中国学研究センター所長 李 春利	I C C S 図書の出版 「不確実性の世界と現代中国」	500 部	
2	10 月 11 日	愛知大学国際問題研究所 所長 佐藤 元彦	愛知大学国際研究機構 第 1 回研究 フォーラム 公開講演会「ラテン アメリカから見た中国と日本」	関係者 7 名、一般 162 名 合計 169 名	
3	11 月 13 日	経済学部 准教授 清水 伸子	令和 4 年度比較民族学会大会(オ ンライン開催)	学会員、愛知大学および他大学 関係者、一般参加者 合計 19 名	
4	12 月 16 日	経済学部教授 國崎 稔	学術講演会「人口減少・高齢化と地 方財政」	本学学生及び一般社会人 合計 220 名	
5	12 月 17 日	江蘇部会長(国際教育推進委員 会) 砂山 幸雄	江蘇杯中国語スピーチコンテスト (日本・中国オンライン接続)	中部 9 県の大学生及び本学関係 者、江蘇国際文化交流センタ ー、南京大学 合計 80 名	
6	12 月 24 日	愛知大学総合郷土研究所 所長 神谷 智	愛知大学地域研究機構主催 公開講演会「穂国の古墳文化」	関係者及び一般参加者 合計 100 名	
7	2023 年 3 月 11 日	愛知大学国際問題研究所① 運営委員 岩田 普典	愛知大学国際問題研究所主催 国 際シンポジウム「東亜同文書院「大 旅行」と現代東アジア」	関係者 17 名、一般 90 名 合計 107 名	

●後援会海外研究実習助成金 (750,000 円)

	時期	申請部署	プログラム名	参加人数	備考
1	2023 年 2 月 7 日 ～2 月 11 日	短期大学部 教授 杉本貴代	短期大学部 英語圏短期研修(オンライン開催)	16 名	
2	2023 年 2 月 14 日 ～2 月 28 日	国際コミュニケーション学部 教授 岩田晋典	国際コミュニケーション学部専門科目「国際フィールドワーク (台湾)」	19 名	
3	2023 年 2 月 26 日 ～3 月 12 日	法学部長 広瀬裕樹	2022 年度ハワイ大学法科大学院スタディツアー	6 名	
/	8 月中旬 9 月上旬までの 15 日間を予定	現代中国学部現地インターンシップ実施委員長 阿部宏忠	現代中国学部 2022 年度 (第 19 回) 現地インターンシップ	20 名	中止
/	8 月～9 月の 10 日間を予定	現代中国学部長 砂山幸雄	現代中国学部 現地研究調査	14 名	中止

●キャリア教育事業助成金 (1,243,000 円)

	開催時期	プロジェクト名	概要等	備考
1	2022 年 9 月	求人検索NAV I 改修	就職支援ポータルサイト「求人検索NAV I」改修。学生へ行事（インターンシップ、ガイダンス、セミナー等）の発信、参加状況確認等を円滑に行うことができるようポータル画面の各所の操作性を向上させ、求人検索NAV I の機能向上により、学生への有益な情報発信及び就活生の状況把握を図る。	
2	2022 年度	学生等に向けた告知チャンネルの追加	学生の携帯電話にメッセージ（SNS）を一斉送信し、各種イベントの周知や効率的な進路調査に活用する。NTT コムオンライン・マーケティング・ソリューションが提供する「空電プッシュ」の 3 ヶ月契約料の申請。求人検索NAV I は一斉配信が可能であるが、開封確認ができないため、本システムの導入で確実に情報を学生に届け進路未登録者ゼロを目指す。	

●特定資産 学生支援充実費助成 (120,000 円)

	時期	申請部署	プログラム名	参加人数	備考
1	2023 年 2 月 28 日 ～3 月 18 日	現代中国学部長 砂山幸雄	中国語海外短期語学研修	6 名	

●教育活動助成金 (6,351,771 円)

〈クラブ活動 合計 29 団体〉

豊橋校舎：豊橋バスケットボール部、男子バレーボール部、女子バレーボール部、馬術部、軟式野球部、硬式ソフトボール部、硬式庭球部、ハンドボール部、ソフトテニス部、自転車部、陸上競技部、卓球部、弓道部、ヨット部、吹奏楽団

名古屋校舎：水泳部、柔道部、ゴルフ部、男子バスケットボール部、女子バスケットボール部、硬式テニス部、剣道部、フィギュアスケート部、陸上競技部、カヌー部、競技スキー部、應援団チアリーディング部、少林寺拳法部、軽音楽部

〈ゼミ等 3 団体〉

法学部吉垣ゼミ、法学部岡田ゼミ、法科大学院連携コース、

●教育活動顕彰 (3,634,869 円)

スポーツ・芸術・文化・社会貢献等の分野において活躍し、顕著な成果をおさめた団体及び個人に対して、その栄誉を称え、一層の励みとすることを目的に顕彰を実施。